

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月1日

上場会社名 株式会社 ヒューネット
 コード番号 8836 URL <http://hunet.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 檀上 浜爾
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 河村 宗芳
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月13日

上場取引所 JQ
 TEL 03-5575-6591

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	372	—	△98	—	△186	—	△176	—
20年3月期第1四半期	9,344	—	260	—	△205	—	571	—
1株当たり四半期純利益			潜在株式調整後1株当たり四半期純利益					
21年3月期第1四半期			円 銭	円 銭				
20年3月期第1四半期			△0.66	—				
			1.23	—				

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	16,023	8,004	50.0	△5.27
20年3月期	15,449	8,177	52.9	△4.61
(参考) 自己資本	21年3月期第1四半期 8,004百万円	20年3月期 8,177百万円		

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 8,004百万円 20年3月期 8,177百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間 通期	2,400	—	△40	—	△220
	10,500	△31.9	690	—	420

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期 471,433,970株	20年3月期 471,433,970株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期 967,672株	20年3月期 967,672株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期 470,466,298株	20年3月期第1四半期 463,034,032株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年5月14日に発表しました通期連結業績予想に変更はありません。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果になる場合があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、原油価格をはじめ原材料価格の上昇および米国のサブプライムローン問題に端を発する米国経済の減速懸念など、景気の先行きが不透明な状況となってまいりました。

不動産業界におきましては、サブプライムローン問題の金融市場への影響から、不動産投資減退の動きや土地価格の下落傾向が見られ、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当第1四半期については、商品物件の販売に向けて積極的な営業活動を図るとともに、保有物件の賃貸収入アップを図ってまいりました。

売上高につきましては、旧大阪支店オフィス物件の販売、郡山の宅地分譲、保有物件の賃貸収益を計上しました。

利益面につきましては、第3四半期以後に大半の売上を計画している関係上、当第1四半期においては売上収益が販管費をまかないきれず、営業損失、経常損失および四半期純損失を計上しました。

以上の結果、当第1四半期の業績は、売上高372百万円（前年同期比8,972百万円減）、営業損失98百万円（前年同期は260百万円の営業利益）、経常損失186百万円（前年同期は205百万円の経常損失）、四半期純損失176百万円（前年同期は571百万円の四半期純利益）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は、16,023百万円となり、前連結会計年度末に比べて574百万円増加しました。これは主に分譲マンションの完成に伴う販売用不動産の増加1,597百万円、現金及び預金の増加339百万円等によりますが、一方で短期貸付金の回収による減少600百万円、営業出資金の払戻し等による減少449百万円等が減少要因となりました。

負債は、8,019百万円となり、前連結会計年度に比べて747百万円増加しました。これは主に分譲マンションの完成に伴い支払手形及び買掛金が1,442百万円増加したことによりますが、一方で営業外支払手形の減少500百万円等が減少要因となりました。

純資産は、8,004百万円となり、前連結会計年度末に比べて173百万円減少しました。これは主に四半期純損失176百万円を計上したことによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の業績はほぼ予定通りに推移しており、平成20年5月14日発表の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 資本金および資本準備金の額の減少

平成20年6月25日開催の当社第62回定時株主総会において、資本金および資本準備金の額の減少議案が承認可決され、平成20年8月1日にその効力が発生いたしました。その要領は、資本金の額30,112,019,900円のうち25,112,019,900円および資本準備金の額14,907,211,304円の全額を減少し、その他資本剰余金に振替え、増加後のその他資本剰余金のうち43,118,609,998円を欠損填补に充当しました。なお、資本金の額の減少に際して、発行済株式総数の変更は行わず、資本金の額のみを減少しております。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	1,579	1,240
受取手形及び売掛金	1	1
販売用不動産	11,330	9,733
その他のたな卸資産	0	239
営業出資金	330	779
その他	467	1,010
貸倒引当金	△0	△9
流动資産合計	<u>13,710</u>	<u>12,994</u>
固定資産		
有形固定資産	1,546	1,549
無形固定資産	0	0
投資その他の資産	767	904
固定資産合計	<u>2,313</u>	<u>2,454</u>
資産合計	<u>16,023</u>	<u>15,449</u>
負債の部		
流动負債		
支払手形及び買掛金	1,516	74
短期借入金	814	820
1年内返済予定の長期借入金	3,750	3,751
未払法人税等	5	77
引当金	135	164
その他	295	860
流动負債合計	<u>6,517</u>	<u>5,747</u>
固定負債		
社債	762	762
长期借入金	42	50
引当金	1	5
その他	696	705
固定負債合計	<u>1,502</u>	<u>1,523</u>
負債合計	<u>8,019</u>	<u>7,271</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,112	30,112
資本剰余金	21,784	21,784
利益剰余金	△43,291	△43,118
自己株式	△600	△600
株主資本合計	<u>8,004</u>	<u>8,177</u>
純資産合計	<u>8,004</u>	<u>8,177</u>
負債純資産合計	<u>16,023</u>	<u>15,449</u>

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年6月30日)

売上高	372
売上原価	267
売上総利益	104
販売費及び一般管理費	202
営業損失(△)	△98
営業外収益	
受取利息	6
受取配当金	1
未払配当金除斥益	5
その他	0
営業外収益合計	14
営業外費用	
支払利息	84
その他	18
営業外費用合計	102
経常損失(△)	△186
特別利益	
貸倒引当金戻入額	11
特別利益合計	11
税金等調整前四半期純損失(△)	△175
法人税、住民税及び事業税	0
法人税等合計	0
四半期純損失(△)	△176

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失（△）	△175
減価償却費	11
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△1
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△4
受取利息及び受取配当金	△8
支払利息	84
投資有価証券評価損益（△は益）	2
売上債権の増減額（△は増加）	0
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,358
営業出資金の増減額（△は増加）	449
仕入債務の増減額（△は減少）	1,442
未払消費税等の増減額（△は減少）	△68
営業外支払手形の増減額（△は減少）	△500
その他	△173
小計	△299
利息及び配当金の受取額	8
利息の支払額	△82
法人税等の支払額	△4
営業活動によるキャッシュ・フロー	△378
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△7
貸付金の回収による収入	600
その他	17
投資活動によるキャッシュ・フロー	610
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額（△は減少）	△5
長期借入金の返済による支出	△8
配当金の支払額	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	216
現金及び現金同等物の期首残高	1,117
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	123
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,457

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 繼続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

当社グループは不動産事業を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

海外売上がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額（百万円）
I 売上高	9,344
II 売上原価	8,517
売上総利益	827
III 販売費及び一般管理費	566
営業利益	260
IV 営業外収益	47
V 営業外費用	513
経常損失	205
VI 特別利益	781
VII 特別損失	3
税金等調整前四半期純利益	572
税金費用	0
四半期純利益	571

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額（百万円）
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	572
減価償却費	15
のれん償却額	14
受取利息及び受取配当金	△2
支払利息	432
売上債権の減少額（△増加額）	2
たな卸資産の減少額（△増加額）	22,134
仕入債務の増加額（△減少額）	△785
その他	△363
小計	22,020
利息及び配当金の受取額	1
利息の支払額	△414
法人税等の支払額	△0
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,607
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入れによる支出	△94
定期預金の払戻しによる収入	25
投資有価証券の取得による支出	△2
投資有価証券の売却による収入	40
投資有価証券の払戻しによる収入	112
貸付による支出	△188
貸付金の回収による収入	0
その他	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△106
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増加額（△減少額）	△22,627
長期借入れによる収入	181
長期借入金の返済による支出	△311
株式の発行による収入	1,352
配当金の支払額	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△21,405
IV 現金及び現金同等物の増加額（△減少額）	94
V 現金及び現金同等物の期首残高	981
VI 現金及び現金同等物の期末残高	1,076